

# 10/23 (水) の行事

報道発表資料の配付日時 10月21日 (月) 10時00分

発表項目 (行事名)	令和元年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構職員表彰式の実施について																																
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																															
		発表場所																															
概要	<p>北海道立総合研究機構では、毎年度、北海道の産業開発や道民生活の向上に特に貢献した研究・発明発見を行った職員等に対して、知事賞・理事長賞を授与しています。</p> <p>今年度については、浦本副知事ご臨席のもと、表彰式を以下のとおり執り行いますので、お知らせします。</p> <p>○実施日時 令和元年10月23日 (水) 15:00～16:00</p> <p>○場所 京王プラザホテル札幌 3階 雅の間</p> <p><b>【知事賞】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>研究名</td> <td>近赤外分析による高精度な飼料成文推定用検量線の開発とその統一供用などによるフォレンジテストの普及促進</td> </tr> <tr> <td>チーム名</td> <td>フォレンジテスト普及促進チーム (7名)</td> </tr> </table> <p><b>【理事長賞】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>研究名</td> <td>加熱殺菌済み果実加工品「レアフル」の開発と普及</td> </tr> <tr> <td>チーム名</td> <td>果実加工品「レアフル」開発チーム (5名)</td> </tr> <tr> <td>研究名</td> <td>ハーブを活用した放流用サケ稚魚の原虫病予防技術の開発</td> </tr> <tr> <td>チーム名</td> <td>サケ原虫病対策チーム (3名)</td> </tr> <tr> <td>研究名</td> <td>樹脂製柵状熱交換器とこれを活用した熱交換システム</td> </tr> <tr> <td>チーム名</td> <td>樹脂製柵状熱交換器と熱交換システム」の技術開発チーム (7名)</td> </tr> </table> <p>○次第</p> <table border="1"> <tr> <td>開式</td> <td>15:00</td> </tr> <tr> <td>国歌斉唱</td> <td>15:00</td> </tr> <tr> <td>選考経過報告</td> <td>15:01</td> </tr> <tr> <td>理事長あいさつ</td> <td>15:05</td> </tr> <tr> <td>副知事あいさつ</td> <td>15:10</td> </tr> <tr> <td>表彰状授与</td> <td>15:15</td> </tr> <tr> <td>受賞者代表のことば</td> <td>15:45</td> </tr> </table>			研究名	近赤外分析による高精度な飼料成文推定用検量線の開発とその統一供用などによるフォレンジテストの普及促進	チーム名	フォレンジテスト普及促進チーム (7名)	研究名	加熱殺菌済み果実加工品「レアフル」の開発と普及	チーム名	果実加工品「レアフル」開発チーム (5名)	研究名	ハーブを活用した放流用サケ稚魚の原虫病予防技術の開発	チーム名	サケ原虫病対策チーム (3名)	研究名	樹脂製柵状熱交換器とこれを活用した熱交換システム	チーム名	樹脂製柵状熱交換器と熱交換システム」の技術開発チーム (7名)	開式	15:00	国歌斉唱	15:00	選考経過報告	15:01	理事長あいさつ	15:05	副知事あいさつ	15:10	表彰状授与	15:15	受賞者代表のことば	15:45
	研究名	近赤外分析による高精度な飼料成文推定用検量線の開発とその統一供用などによるフォレンジテストの普及促進																															
チーム名	フォレンジテスト普及促進チーム (7名)																																
研究名	加熱殺菌済み果実加工品「レアフル」の開発と普及																																
チーム名	果実加工品「レアフル」開発チーム (5名)																																
研究名	ハーブを活用した放流用サケ稚魚の原虫病予防技術の開発																																
チーム名	サケ原虫病対策チーム (3名)																																
研究名	樹脂製柵状熱交換器とこれを活用した熱交換システム																																
チーム名	樹脂製柵状熱交換器と熱交換システム」の技術開発チーム (7名)																																
開式	15:00																																
国歌斉唱	15:00																																
選考経過報告	15:01																																
理事長あいさつ	15:05																																
副知事あいさつ	15:10																																
表彰状授与	15:15																																
受賞者代表のことば	15:45																																
参考	表彰式では、併せて永年勤続表彰も行います。																																
報道(取材)に当たってのお願い	当日は、記者席を設けますので、積極的な取材をお願いします。																																
他のクラブとの関係	同時配付 (場所)																																
	同時レク																																
担当 (連絡先)	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 経営企画部 (担当: 齊藤) 電話 011-747-2796 (直通)																																

## 研究・発明発見受賞研究概要

### ○知事表彰

研究名	近赤外分析による高精度な飼料成分推定用検量線の開発とその統一供用などによるフォレンジテストの普及促進
研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道内では、昭和56年頃から、フォレンジテスト（使用している粗飼料を分析し、それを飼料給与診断に応用する一連の過程）が複数機関で実施されていたが、分析機関により分析値が異なることが問題とされていた。</li> <li>・本研究では、分析値が異なる原因が、分析機関によって化学分析手法や検量線の精度が異なることを明らかにし、化学分析手法の統一と高精度な近赤外分析用の検量線を開発し、統一供用を図った。</li> <li>・本成果により、フォレンジテストに基づく飼料設計を行うことで、北海道全体では少なくとも年間8億2千万円のコスト低減に寄与した。（試算）</li> </ul>

### ○理事長表彰

研究名	加熱殺菌済み果実加工品「レアフル」の開発と普及
研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年から研究を開始、平成24年にプロトタイプ製法を開発、平成25年に、真空包装とレトルト殺菌装置による製法の開発を開始した。</li> <li>・製造条件として殺菌温度・時間、真空包装容器（パウチ）について評価するとともに、原料として各種果実および品種の適性を評価し、さらに連携企業と協力して一般消費者、製造業者等を対象に試作品を評価した。</li> <li>・平成26年に特許申請を行い、民間企業への技術移転により、試験製造、販売を開始するとともに、許諾先企業に技術支援を行い、平成27年以降、保存性および品質を向上させるため、パウチの材質、加熱条件、保存条件等の改良を行っている。関連製品を含む付加価値額は2億5千万円を超えており、産地や加工業の振興への貢献が高く評価されている。</li> </ul>

### ○理事長表彰

研究名	ハーブを活用した放流用サケ稚魚の原虫病予防技術の開発
研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15種類の各ハーブ成分を5段階の各濃度で添加した配合飼料を0～30日間サケ稚魚に給餌、最も予防効果の高い処方を検索したところ、オレガノ精油を0.018%の濃度で添加した配合飼料を連続7日間以上給餌した時に、最も高い原虫病予防効果が得られた。</li> <li>・この処方を「サケ稚魚の原虫病予防技術」と決定し、この発明技術の特許化、サケ稚魚用天然飼料として商品化し、平成26年から販売されている。</li> <li>・道内5箇所の民間孵化場に発明技術を導入し、50日間の稚魚飼育試験を行った結果、全ての孵化場で原虫病の発症が完全に予防され、発明技術の実用性が証明された。</li> </ul>

### ○理事長表彰

研究名	樹脂製柵状熱交換器とこれを活用した熱交換システム
研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排湯熱など温泉施設における未利用な熱エネルギーの資源量調査を実施し、実験や数値計算等を駆使して熱交換性能が向上する樹脂製熱交換器の形状の最適化や、その熱交換量、耐久性を評価した。</li> <li>・温泉施設の排湯等を活用した給湯用熱交換システムを施工し、その有効性の検証や導入マニュアルを作成した。本熱交換器は平成29年度から販売が開始され、道内各地の公共施設等に導入されている。</li> </ul>